



SDGs 宣言達成状況報告書

私たちは、宣言書に記載した取組目標の達成状況を次のとおり報告し、持続可能なまちづくりに向けて、次のとおり取り組むことを宣言します。

報告日 2023 年 2 月 9 日

事業所・団体等又は関連事業者等としての2030年の（又は中長期的な）あるべき姿			
快適で心地良いクラウドテクノロジーの開発提供を通じ、なめらかなコミュニケーション社会の発展への寄与。			
事業所・団体等又は関連事業者等としてのねらい、特徴的な活動			
クラウドサービスの包括的なエコシステム型モデルの確立により地球環境のクリーンエネルギー化の推進を図る。卓越したテクノロジー開発と洗練されたマーケティングによる成長戦略を通じ、安心安全で心地よいコミュニケーション社会を創造し国内トップクラスのデジタルプラットフォームをを目指す。			
目標に関連する取組内容			
ゴール	2022 年12月31日までの取組目標	左記取組目標の達成状況	2023 年12月31日までの取組目標
	テクノロジーのアップデートにより快適性を追求し、事業エリアならびに規模拡大により地域社会の経済成長を盛り上げ、主に貧しい生活者の雇用創出と賃金上げに貢献する。	<ul style="list-style-type: none"> ・主力2サービスにおいて大型アップデートを実施した。 ・2022年2月～2023年1月までに新規に3名を雇用。2023年4月に2名雇用予定。 	テクノロジーのアップデートにより快適性を追求し、事業エリアならびに規模拡大により地域社会の経済成長を盛り上げ、雇用創出と賃金上げに貢献する。
	DtoCへの参入企業の拡大とそのイノベーションに寄与するため、テクノロジーのアップデートによる操作性向上とマーケティング支援を強化し10倍以上の流通商取引を目指す。	2022年3月にECプラットフォーム「(旧) ACCESSSHOP アクセスショップ」のメジャーアップデートを行い、「XrossCommerceGates クロスコマースゲイト」をリリースした。	DtoCへの参入企業の拡大とそのイノベーションに寄与するため、テクノロジーのアップデートによる操作性向上とマーケティング支援を強化し10倍以上の流通商取引を目指す。
	テクノロジーの先端技術を持つSmartWatchなどのヘルスケア機能を持つウェアラブルデバイスとIoT連携を強めることで、現在の2倍以上のユーザー同士のコミュニケーション活性化を促進する。	2022年4月21日にスマートウォッチでの安否回答を可能とした『安否確認システム 安否コール』の新しいアプリをリリースした。	テクノロジーの先端技術を持つSmartWatchなどのヘルスケア機能を持つウェアラブルデバイスとIoT連携を強めることで、現在の2倍以上のユーザー同士のコミュニケーション活性化を促進する。
	サービス導入企業向けの運用サポートとしてテクニカルセミナーの頻度を高めを毎月開催し100社以上が受講する。導入企業への事例動画配信により、極めて具体的で実効性の高い利用促進に繋がるよう啓蒙を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・テクニカルセミナーを14回実施した。受講社数の目標は未達。 	サービス導入企業向けの運用サポートとしてテクニカルセミナーの頻度を高めを毎月開催し100社以上が受講する。導入企業への事例動画配信により、極めて具体的で実効性の高い利用促進に繋がるよう啓蒙を図る。
	男女ともに差別なく出産・子育て支援策を積極的に拡充し、管理職層に占める男女比率において公平で平等な組織基盤を醸成。	2022年2月～2023年1月までに <ul style="list-style-type: none"> ・産休育休取得者2名 ・子育てを理由としたフレックスタイム制度利用者1名 	男女ともに差別なく出産・子育て支援策を積極的に拡充し、管理職層に占める男女比率において公平で平等な組織基盤を醸成。
	<ul style="list-style-type: none"> ・物流の最適化を図る「eMAPロケーション」のテクノロジーは、自動車や大型車など効率的で無駄のない配送ルートが導き出されるため排気ガス・二酸化炭素の排出量の大幅な削減に繋げ世界中の水資源の汚染を防止し、快適な上下水道の確保を実現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「eMAPロケーション」の機能改善に向けた開発を進めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・物流の最適化を図る「eMAPロケーション」のテクノロジーは、自動車や大型車など効率的で無駄のない配送ルートが導き出されるため排気ガス・二酸化炭素の排出量の大幅な削減に繋げ世界中の水資源の汚染を防止し、快適な上下水道の確保を実現している。
	企業のDXを推進するマーケティングプラットフォームの「FREECODE」のEditorをECプラットフォーム「ACCESSSHOP」などガジェット含む関連のサービスとの共通モジュール化によりエコシステムを促進する。XrossEditor化のアップデートにより多彩なデザインを取り込むゲートウェイが一本化され、ブリッジとなる「FREEPalette」がよりシームレスで飛躍的な省エネを実現する。	<ul style="list-style-type: none"> ・「XEO server」において、高パフォーマンスを発揮しながら、コストダウンにつなげる構成の見直しを実施した。 	企業のDXを推進するマーケティングプラットフォームの「FREECODE」のEditorをECプラットフォーム「ACCESSSHOP」などガジェット含む関連のサービスとの共通モジュール化によりエコシステムを促進する。XrossEditor化のアップデートにより多彩なデザインを取り込むゲートウェイが一本化され、ブリッジとなる「FREEPalette」がよりシームレスで飛躍的な省エネを実現する。

	<p>最新のテクノロジーのノウハウを蓄積した製品アップデートにあわせ、個人のスキルや知識修得を目的としたWEB検定、GAIQ、WEB解析士の資格取得支援、社内検定としてアドクエ、ウェブジェネチャレンジなど高いレベルの専門性のIT教育を通じて従業員の成長をサポートする。リモートワーク等による新たな生活様式に合った多様で臨機応変な働き方を推進する。</p>	<p>・会社の理解度を深めるための社内検定を2022年2月～2023年1月までで計6回実施した。</p>	<p>最新のテクノロジーのノウハウを蓄積した製品アップデートにあわせ、個人のスキルや知識修得を目的としたWEB検定、GAIQ、WEB解析士の資格取得支援、社内検定としてアドクエ、ウェブジェネチャレンジなど高いレベルの専門性のIT教育を通じて従業員の成長をサポートする。リモートワーク等による新たな生活様式に合った多様で臨機応変な働き方を推進する。</p>
	<p>ISMS/PMS指針に則り重大なセキュリティインシデントの発生件数ゼロを目指し、業界トップレベルの品質管理を行う。世界中のIT技術との連携機能や新技術を取り込んだエコシステムの確立とグローバル戦略を視野に入れたプラットフォームへ進化させる。</p>	<p>・重大セキュリティ事故の発生はなし。</p>	<p>ISMS/PMS指針に則り重大なセキュリティインシデントの発生件数ゼロを目指し、業界トップレベルの品質管理を行う。世界中のIT技術との連携機能や新技術を取り込んだエコシステムの確立とグローバル戦略を視野に入れたプラットフォームへ進化させる。</p>
	<p>一部の英語ポルトガル語などの多言語が対応され、それ以外の言語対応を順次進めることでバリアフリー社会に向けたグローバル対応のテクノロジーを目指す。</p>	<p>・多言語化に関しては未実施。</p>	<p>一部の英語ポルトガル語などの多言語が対応され、それ以外の言語対応を順次進めることでバリアフリー社会に向けたグローバル対応のテクノロジーを目指す。</p>
	<p>安否確認システム「安否コール」の機能拡充・速度改善・稼働安定性の向上により、企業の災害時の初動対応・コミュニケーションの迅速化に貢献する。</p>	<p>・軽微なアップデートも含め、12回のアップデートを実施して、速度改善・安定稼働の向上を進めた。</p>	<p>安否確認システム「安否コール」の機能拡充・速度改善・稼働安定性の向上により、企業の災害時の初動対応・コミュニケーションの迅速化に貢献する。</p>
	<p>情報セキュリティに関する最新情報の収集と社員への情報提供を行い意識の向上を図る。クラウドサービスの情報セキュリティ対策とプライバシー保護対策、高可用性強化による快適で安心安全なサービスの創造へつなげる。</p>	<p>・セキュリティ対策に関する最新情報を含めた全社員への教育を実施。 ・個人情報関連法令の更新に伴う社内規定、マニュアル等の更新を実施。 ・サイバーセキュリティの専門知識を有し、対策責任者を担う人材としての国家資格「情報処理安全確保支援士」を1名が取得。</p>	<p>情報セキュリティに関する最新情報の収集と社員への情報提供を行い意識の向上を図る。クラウドサービスの情報セキュリティ対策とプライバシー保護対策、高可用性強化による快適で安心安全なサービスの創造へつなげる。</p>
	<p>BCPの最新版のメンテナンスと社内教育の徹底を図り社員の危機管理意識向上と事業継続および拡大を目指す。災害大国日本における大規模災害の頻度が高まる中で、あらゆる気候変動や風水害などに対応した技術開発を進める。</p>	<p>・社内BCPにおいて体制・報告フローのメンテナンスを行い、社員への教育を実施した。</p>	<p>BCPの最新版のメンテナンスと社内教育の徹底を図り社員の危機管理意識向上と事業継続および拡大を目指す。災害大国日本における大規模災害の頻度が高まる中で、あらゆる気候変動や風水害などに対応した技術開発を進める。</p>
	<p>南海トラフ地震の震源地である静岡県駿河湾沖でのイベントに、毎年ボランティア活動として協賛する事で海の豊かさや海洋資源の大切さを地域社会のコミュニティへと啓蒙している。</p>	<p>・社員有志で清掃実施。</p>	<p>南海トラフ地震の震源地である静岡県駿河湾沖でのイベントに、毎年ボランティア活動として協賛する事で海の豊かさや海洋資源の大切さを地域社会のコミュニティへと啓蒙している。</p>
	<p>目社及び取引先との業務においてペーパーレスを推進することによりCO2の削減に寄与している。また、クラウドサービスの利用を促進することで顧客企業においてもペーパーレスが進み環境保全に貢献する。</p>	<p>クラウドチャットツール、オンライン会議システム、電子契約システムを利用し、電子データでの共有を推進した。</p>	<p>目社及び取引先との業務においてペーパーレスを推進することによりCO2の削減に寄与している。また、クラウドサービスの利用を促進することで顧客企業においてもペーパーレスが進み環境保全に貢献する。</p>
	<p>さらにGoogleのガイドラインでの公正な「専門性」「権威性」「信頼性」に準拠したテクノロジーへと進化させ、契約企業のコンテンツ全体PVを5倍以上へ拡大する。</p>	<p>・コンテンツへの反映までは至っていないが、社内担当者の勉強会等を実施した。</p>	<p>さらにGoogleのガイドラインでの公正な「専門性」「権威性」「信頼性」に準拠したテクノロジーへと進化させ、契約企業のコンテンツ全体PVを5倍以上へ拡大する。</p>
	<p>製品テクノロジーのユーザ会・パートナーアワードを開催し、ハイレベルな貢献度に応じたエクセレント評価制度を確立する。導入企業やパートナーのコミュニティ形成により、成功体験ノウハウアイデアなどイノベーション創出のヒントを共有しエンゲージメント強化と活性化を図る。</p>	<p>・2022年10月にパートナーアワード、2022年12月にユーザ会を開催し、相互の関係構築を促すことができた。</p>	<p>製品テクノロジーのユーザ会・パートナーアワードを開催し、ハイレベルな貢献度に応じたエクセレント評価制度を確立する。導入企業やパートナーのコミュニティ形成により、成功体験ノウハウアイデアなどイノベーション創出のヒントを共有しエンゲージメント強化と活性化を図る。</p>

様式第2号(第6条関係)

- 記載上の注意
- 1 取組目標は**3つ以上のゴールについて目標を設定し、記載**してください。
 - 2 取組のない目標については、行ごと削除してください。
 - 3 取組目標は、出来る限り定量的に記載してください。
 - 4 ゴールとの関連が不明なものは「その他」に記載してください。
 - 5 取組目標については、毎年1月に達成状況を報告していただきます。

1	事業所・団体等又は 関連事業者等の名称	株式会社アドテクニカ	
		本社が届け出る場合は、事業所（支店・営業所等）の数	4 事業所
2	業 種	5. 情報通信業	
3	従業員（構成員）数	23 人	
4	代表者 職・氏名	職 名	代表取締役社長
		氏 名	下村 聡
5	所 在 地	〒 422-8041	
		静岡市駿河区中田2丁目4-40	
6	ホームページURL	https://www.adtechnica.co.jp/	